

指定管理者モニタリング及び実績評価シート（令和5年度）

1. 指定管理施設の概要

施設名	桶川市体育施設		施設所在地	桶川市下日山谷西二丁目4番地の1 他	
施設の設置目的	市民のスポーツ及びレクリエーションの普及推進を図るとともに、心身の健全な発達と明るく豊かな生活形成に寄与するため				
施設概要	サン・アリーナ 敷地面積：17,000㎡ 建築面積：6,457.16㎡ 鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 3階建 開館：平成3年6月2日 小針グラウンドA 敷地面積：19,862.75㎡ 埼玉県からの借用地 芝生式 開館：平成20年8月23日 小針グラウンドB 敷地面積：9,446.3㎡ 埼玉県からの借用地 開館：平成24年4月1日 舎人スポーツパーク 敷地面積：13,828㎡ 開館：平成3年4月1日 総合運動場 敷地面積：92,156㎡（使用可能面積：65,000㎡） 国からの借用地 開館：昭和44年3月24日				
運営状況	利用時間	AM9:00～PM10:00ほか	定休日等	1月1日から1月3日及び12月29日～12月31日	
	その他	夏季に定期点検日が1日ある（サン・アリーナのみ）			

2. 指定管理者の概要

指定管理者名（代表者）	公益財団法人 桶川市施設管理公社 理事長 興津 吉彦		指定管理者所在地	桶川市下日山谷西二丁目4番地の1	
事業者の選定理由	スポーツ・レクリエーション活動の振興により、市民の健康と豊かな人間性の向上をはかるとともに、勤労青少年の福祉の増進を図ることによって、市民福祉の増進に寄与するため				
指定期間	平成31年4月1日～令和6年3月31日（5か年）		施設利用料金	料金区分	使用料/利用料金制
施設所管課	スポーツ振興課/生涯学習・スポーツ推進課（令和4年度～）			有料ほか	利用料金制
指定管理の区分	選定方法	避難所指定	施設管理	自主事業	目的外使用許可
	公募	有り	有り	有り	有り
指定管理料	募集時上限額（5年：税込）	348,068,000 円		現年度協定額（年額：税込）	70,624,000 円
指定管理者の主な業務	①体育施設の利用の許可、変更及び許可の取り消しに関する業務、②体育施設及び設備の維持管理に関する業務、③体育施設の利用に係る料金の納入、減免及び還付に関する業務、④体育施設の設置目的である、市民のスポーツ及びレクリエーションの普及推進のために教育委員会が必要と認めるスポーツ振興事業等に関する業務、⑤その他体育施設の運営に関して教育委員会が必要と認める業務				

3. 利用状況（5か年）

来場者数	令和元年度					令和2年度					令和3年度					令和4年度					令和5年度													
	実績（人）a	目標値（人）b	達成率（a/b）	前年比	前年比	実績（人）a	目標値（人）b	達成率（a/b）	前年比	前年比	実績（人）a	目標値（人）b	達成率（a/b）	前年比	前年比	実績（人）a	目標値（人）b	達成率（a/b）	前年比	前年比	実績（人）a	目標値（人）b	達成率（a/b）	前年比	前年比									
	372,474	390,000	95.51%	---	66.06%	246,062	397,000	61.98%	98.20%	108.62%	274,510	403,000	68.12%	104.59%	18,998	26,940	70.52%	---	47.87%	133.64%	140.95%	113.37%	12,153	30,600	39.72%	55.63%	17,130	30,790	55.63%	63.53%	19,421	30,570	63.53%	113.37%

4. 指定管理者収支状況（5か年）

収入（千円）	令和元年度					令和2年度					令和3年度					令和4年度					令和5年度																													
	指定管理料	使用料	自主事業収入	収入計	前年比	指定管理料	使用料	自主事業収入	収入計	前年比	指定管理料	使用料	自主事業収入	収入計	前年比	指定管理料	使用料	自主事業収入	収入計	前年比	指定管理料	使用料	自主事業収入	収入計	前年比																									
	69,020	44,910	1,786	115,716	---	68,018	31,174	1,441	100,633	66.06%	68,861	35,560	1,616	106,037	108.62%	74,599	39,013	1,636	115,248	104.59%	70,624	42,883	2,373	115,880	104.59%	100,551	15,142	23	115,716	100.00%	85,483	15,101	49	100,633	66.06%	90,371	15,544	122	106,037	108.62%	99,288	15,960	0	115,248	104.59%	99,439	16,435	6	115,880	104.59%

5. 年次特殊事情等

特殊事情等 ※臨時休館等	館内一斉点検 ・桶川サン・アリーナ 令和5年8月3日	年間利用日数
	電気設備工事による臨時休館 ・桶川サン・アリーナ 令和5年9月19日	
設備投資修繕等 ※備品購入含む	冠水による利用中止 ・舎人スポーツパーク冠水 令和5年6月3日～6月6日	サン・アリーナ 358日 トレーニング室 358日 舎人スポーツパーク 356日
	【桶川サン・アリーナ】ドアクローザー修繕、排水機修繕、エアロバイク修繕、バスケットゴール固定金具修繕、ブルダウンマシン修繕、弓道場照明器具交換修繕、正面玄関外部照明交換修繕、メインアリーナ照明修繕、剣道場エアコン修繕、防火扉等消防設備修繕、グルートマシン修繕、パタフライマシン修繕、コインシャワー修繕、トイレ排水詰り修繕、電話機修繕、AMTバイク修繕、トレーニング機器シート張替、防火シャッターバッテリー交換、全熱交換機修繕、駐輪場雨樋修繕、シャワー水栓修繕、給湯管漏水修繕、便座センサー交換 【総合運動場】防球ネット修繕 【新小針領家グラウンド】受水槽修繕 【舎人スポーツパーク】管理棟出入口扉修繕、コートローラー修繕	

6. 評価結果

評価項目	(1) 履行確認 (適・否評価)	(2) 質・効果・達成度 加点/減点（±1）
	1. 企業倫理	適
2. 施設の維持管理	適	---
3. 指定管理者の義務	適	---
4. 施設の運営	適	0
5. 社会性・環境性	適	0
6. 事業の実施	適	0
7. 事業収支	---	0
8. 総合面	---	0

4.施設の運営
3.指定管理者の義務
2.施設の維持管理
1.企業倫理
5.社会性・環境性
6.事業の実施
7.事業収支
8.総合面

総合評価	評価の定義	総合評価ランクの点数基準	総合評価ランク
	要求水準を満たしており、適正である。	(1) 履行確認「全適」+ (2) 質・効果・達成度「減点なし」かつ「加点なし」	
評価理由 (選定委員会)	施設の管理・運営について、要求水準を満たしている。幅広い世代の多様なニーズに応えるため、多種多様な教室を開催することで、施設利用者や講座参加者を増加させている点を評価した。また、第4期は新型コロナウイルスの影響を多大に受けることとなったが、新規教室の実施や、利用者にとって有益な情報を積極的に発信するなど、利用者ニーズにきめ細かく対応していたことを評価する。		B

7. モニタリング（基本項目チェック） ※実施の確認（実施・・・「○」、未実施・・・「×」、機会無し・・・「-」）

評価項目			評価指標（判断基準）	評価指標	募集要項	仕様書	協定書	事業計画	適否	総合評価
大項目	中項目	個別評価項目								
1. 企業倫理	個人情報保護	個人情報の保護	・個人情報の保護への対応	○	○	○	○	○	○	適
		守秘義務の遵守	・秘密の保持	○	○	○	○	○	○	
	情報セキュリティ	セキュリティポリシーの遵守	・情報セキュリティポリシーの遵守	○	○	○	○	○	○	
		職員研修	・従業員に対する適切な研修の実施 / 利益供与の禁止	○	○	○	○	○	○	
	法令順守	情報公開対応	・情報公開への適正な対応	○	○	○	○	○	○	
		関係法令の遵守	・関係法令の遵守	○	○	○	○	○	○	
		再委託規定の遵守	・業務再委託についての規定の遵守	○	○	○	○	○	○	
2. 施設の維持管理	安全管理	警備業務	・警備業務の適正な実施	○	○	○	○	○	○	
		避難訓練の実施	・避難訓練等の定期的な実施	○	○	○	○	○	○	
	維持管理	施設の運転管理	・施設の適正な運転管理の実施	○	○	○	○	○	○	
		施設の修繕	・必要な施設修繕の適正な実施	○	○	○	○	○	○	
		植栽管理	・植栽管理の適正な実施	○	○	○	○	○	○	
	保守点検	清掃業務	・適正な清掃の実施	○	○	○	○	○	○	
		施設の衛生管理	・衛生施設等の適正な点検等の実施	○	○	○	○	○	○	
3. 指定管理者の義務	調査・協議	アンケート等の実施	・アンケート等の実施 / 利用者満足度調査	○	○	○	○	○	○	
		市との協議	・市との協議の実施	○	○	○	○	○	○	
		市の指示への対応	・市からの指示・協議事項への理解と対応	○	○	○	○	○	○	
	適正管理	備品の管理	・適正な備品管理 / 備品台帳の整備	○	○	○	○	○	○	
		利用料金の適正決定	・利用料金の適正な決定	○	○	○	○	○	○	
	報告	文書の管理・保存	・適正文書の管理・保存 / 管理規程の作成	○	○	○	○	○	○	
		事業計画書の提出	・事業計画書等の作成及び提出	○	○	○	○	○	○	
保険加入	事業報告書の提出	・事業報告書等の書類の提出及び報告等の実施	○	○	○	○	○	○		
	実績報告書の提出	・実績報告書等の提出	○	○	○	○	○	○		
4. 施設の運営 ※評価項目あり	危機対策	火災保険の加入	・火災保険等の加入	○	○	○	○	○	○	
		損害保険の加入	・損害賠償に対応した適正な保険への加入	○	○	○	○	○	○	
	収支管理	災害時対策	・適切な災害対策の実施 / 危機管理マニュアルの整備	○	○	○	○	○	○	
		避難所開設のための必要な体制の整備	○	○	○	○	○	○	○	
	人員配置	会計管理	・指定管理業務会計の適正管理（区分管理） / 別口座の開設	○	○	○	○	○	○	
		余剰金の還元	・提案された還元方法の遵守	○	○	○	○	○	○	
	窓口業務	適正な人員配置	・適正な人員配置	○	○	○	○	○	○	
統括責任者の配置		・適正な統括責任者の配置	○	○	○	○	○	○		
目的外使用許可	防火管理者の配置	・適正な防火管理者の配置	○	○	○	○	○	○		
	受付業務	・受付業務の適正実施 / 利用許可、料金収受（減免・還付）	○	○	○	○	○	○		
	職員の接遇	・適正な接遇の実施	○	○	○	○	○	○		
5. 社会性・環境性 ※評価項目あり	利用者への配慮	目的外使用許可	・行政財産の目的外使用許可についての適正運用	○	○	○	○	○	○	
		施設運用	・利用時間等の変更・休館等の適正実施 / 市との協議の実施	○	○	○	○	○	○	
	環境対応	障害者等への配慮	・高齢者、障害者等への配慮 / 動線の確保など	○	○	○	○	○	○	
		利用の公平性	・市民利用にあたっての公平な運営	○	○	○	○	○	○	
	雇用体制	省エネルギー対応	・省エネルギーに配慮した調達	○	○	○	○	○	○	
		適正な廃棄処理	・廃棄物の処理及びリサイクル等の適正実施	○	○	○	○	○	○	
	地域貢献	継続雇用	・既存職員の継続雇用への対応	○	○	○	○	○	○	
障害者（高齢者）雇用		・障害者（高齢者）雇用への対応	○	○	○	○	○	○		
施設の設置目的		・施設の設置目的に基づく管理運営の実施	○	○	○	○	○	○		
6. 事業の実施 ※評価項目あり	自主事業	市内中小企業者への配慮	・市内中小企業者への発注等の配慮	○	○	○	○	○		
		障害者団体への配慮	・障害者団体への発注等の配慮	○	○	○	○	○		
	指定事業	施設・関係団体との連携	・地域住民、NPO等との積極的な連携	○	○	○	○	○		

8. モニタリング評価（質・効果・達成度）

区分 No	大項目	評価項目	評価の基準	自己評価	市側一次評価	一次評価
				（指定管理者コメント）	（施設所管課コメント）	確定評価
No. 4 ※履行項目	施設の運営	利用者数 / 苦情対応 / 接遇 / 利用しやすさ / 清潔さ / その他	利用しやすい予約方法はインターネット、電話、窓口と複数種を併用した。ホームページでリアルタイムのトレーニング入室者数と施設空き照会、混雑予想など、利用者向けにわかりやすい情報の提供を積極的に行い、利便性と効率の向上を図った。適正な管理運営に資するため応急手当講習や防災訓練、公認スポーツ施設管理士講座等の職員研修を実施した。施設の経年劣化によるフロアリング損傷に対し目視点検と応急処置を施し床傷による負傷防止に努めた他、テニスコート白線の劣化に対する改修以前の対応としての応急処置を実施した。屋外施設とエアコンのないサブアリーナと弓道場に熱中症予防と啓発のため、屋外全施設に熱中症指標計を新設し安全確保に注力した。	○	○	○
No. 5 ※履行項目と重複	社会性・環境性	市内業者への配慮 / 障害者団体への配慮 / 継続雇用 / 障害者雇用 / 雇用待遇 / その他	シルバー人材センターへの業務委託による市内在住高齢者の雇用と生きがいづくりを継続した。備品購入や修繕については桶川市内の事業者から見積取を行い発注機会の確保に努め、桶川市内の事業者育成の趣旨に沿った発注を実施した。受付担当職員は市内在住者を中心に継続雇用し、待遇面においては休暇取得率78%になる等、働きやすさに配慮した。	○	○	○
No. 6 ※履行項目と重複	事業の実施	事業の実施数 / 参加人数 / 参加率 / 企画内容 / 利用者ニーズへの対応 / その他	多様な利用者のニーズに応えるため22種33教室を開催した。そのうち28教室は通年継続開催した。桶川サン・アリーナの教室を広めるため実施するシルバー人材センター共催の他公共施設でのフレイル予防すこやか体操は前年度と異なる会場で開催した他、トレーニング・食事・医療面で連携する生活習慣病予防教室を昨年度に引き続き実施し健康的な生活習慣の確立に貢献し継続利用を促進した。桶川市や市内他団体と行事を共催し、新規では市内高齢者を対象とした運動会をシルバー人材センターと安全に配慮しメインアリーナで共催した。前年度比で、来場者数は4.6%増加につながった。	○	○	○
No. 7	事業収支	経費削減の効果 / 経費削減の取組 / 収入増への取組 / その他	安全性と快適性を維持しながら冷暖房を効果的に使用し光熱水費を削減するためデマンドモニターを活用し、利用量と契約電力上昇の抑制に努めた。新型コロナウイルスの影響による利用控えから脱却し積極的に利用していたことから、前年度から安全対策を状況に合わせて徐々に緩和し今期はアクリル板や消毒の設置は継続する等安心してご利用いただける環境づくりに配慮しながら、積極的な事業展開を行い、利用料収入の回復に努め、利用料収入は前年度比10%増加した。	○	○	○
No. 8	総合面	施設設置目的の実現 / その他	設備面、衛生面での安全確保を第一に、事業計画に沿った事業を実施した。昨年度に続きニーズに合った多様な教室を通年で参加機会を確保するため実施し、多くの参加者を得て増員となった。未だご利用されたことのない方に桶川サン・アリーナの利用価値を広めるための他施設との連携事業や利用継続を促すための教室についても引き続き実施し、新規利用と利用継続に努めた。	○	○	○